

① : ワークショップ①(10:10~11:30)

講座番号： ①ー1	講座名：
講師： 柴田 雅裕 (札幌西)	How to Give Clear Classroom Instructions in English How to Get Students Using More Classroom English
講師略歴： 1979年7月6日北海道紋別市生まれ。札幌稲北高（3年：期限付。中川淳先生やMETSから多くのことを学ぶ）→滝上高校（5年：1学年1クラスの小さな学校。たった1人の英語教師時代）→静内高校（6年：郡部の中心校。進路多様校）→札幌西高校（2年目：リーディング・ハイスクール）の4校で勤務。「自由・自律・叡智・創造」の西高2年2組担任、進路指導部、女バス顧問。コミュ英語Ⅱと英語表現Ⅱを担当。平成17年度第48回中高英研公開授業者。平成22年度授業実践セミナー（道東ブロック）スペシャリスト。平成22年度・27年度外国語指導助手指導力向上研究会研発者。第45回（平成19年度）・第51回（平成25年度）高教研研発者。平成26年度～高英研講師委員。平成29年度～文部科学省英語教育推進リーダー。	
講座内容： 「今さらながら、オール・イングリッシュの授業ってどうやるの？」 「オール・イングリッシュで授業をやっているけど、生徒は本当に理解しているだろうか？生徒は本当に英語を使えているだろうか？」 15年オール・イングリッシュで授業をしている柴田が2つのことをお伝えします。 ① how to give clear classroom instructions in English ② how to get students using more classroom English いつも通り、明るく楽しい参加型のワークショップをやります！若手の先生もベテランの先生も、郡部校の先生も進学校の先生もふるってご参加ください！	
備考： 模擬授業は全て英語、解説や質疑応答は一部日本語で行います。 参加者は筆記用具持参で参加していただきます。	

講座番号： ①ー2	講座名：
講師： 小林理恵子(札幌東陵)	専門学科と連携した英語授業 ～専門知識を英語で発信！～
講師略歴： 千歳市出身 枝幸高等学校（4年）→倶知安農業高等学校（10年）→札幌東陵高等学校（1年目） 道教委 高等学校英語力向上事業 タイプⅡ（H29）主担当	
講座内容： 専門高校には英語に対して苦手意識を強く持った生徒が多くいました。国際化が進む倶知安町で、実践的で実用的な専門高校の特性を生かした授業を目指しさまざまな活動を行っていました。「英語は苦手だけれど外国人と話したい！自分のことを伝えたい！」そんな生徒たちの気持ちにこたえるべく試行錯誤で行っていた授業を少しご紹介できたらと思います。 ※専門高校で一人で頑張っている先生方、ご参加お待ちしております！	
備考： 筆記用具のみ持参ください。 今年度1問口の小さな農業高校から8問口の普通高校に異動になり、その違いに試行錯誤するの日々です。 「悩み落ち込みどん底に行き、また持ち直す」そんな日々ですが、先生方とワークショップを通して情報交換や日頃の悩みを共有できたらと思っています。よろしくお願いします。	

① : ワークショップ①(10:10~11:30)

講座番号： ①ー3	講座名：
講師：佐々木康希(国際情報)	生徒たちが創りあげる英語コミュニケーション授業
講師略歴： H15～池田〔学力差への対応、関心・意欲・態度の向上を研究〕 H22～滝川西〔4 技能検定、地域や学校の特色をいかした連携、観点別評価、CLIL を研究〕 H28～国際情報〔自律型学習、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等を研究中〕 ・Cambridge Teaching Knowledge Test Module1～3、CLIL 修了 ・高教研研究発表、英検英国研修、ケンブリッジ英検面接官、パラメンタリーディベート研修 英語教育推進リーダー、高文連国際交流専門部常任委員他 ・現在、国際文化科2学年担任。英語部顧問	
講座内容： 1 普段の授業を公開します 2 これまでの実践をシェアします 3 意見交換をしましょう 国際文化科の生徒たちは、幅広く国内外の文化や課題について学び、英語での対話・議論・発信に親しみながら、CEFR B2（英検準1級相当）以上の英語力や、批判的・協働的・創造的思考力、自律した学習者としての姿勢を身につけていきます。本ワークショップでは、現在2学年で行なっている授業を中心に公開します。新学習指導要領、入試改革や日頃課題だと感じていることなどについて、ざっくばらんに意見交換をしましょう。	
備考： 授業は英語、実践交流・意見交換は日本語で行う予定です。 ワークショップのデータ等をご希望される方は、名刺もしくは USB をお持ちください。	

講座番号： ①ー4	講座名：
講師：水尻 孝雄(恵庭北)	「英語表現」どう教えていますか？
講師略歴： 大野農業高校、津別高校、苫小牧工業高校	
講座内容： 英語表現Ⅰ、Ⅱのみを担当して4年目になります。少しずつ変化は見られますが、英語表現の教科書の構成は英文法の理解を主にしている物が多いような気がします。そのような状況で、英語表現Ⅰ、Ⅱにおける生徒の到達目標をどこに置き、どんな授業をするのかという点で苦勞している先生方が多いのではないかと思います。本校での例を紹介すると共に授業体験をしていただき、時間があれば各校の状況を聞き、少しでもお役に立てればと思います。	

講座番号： ①ー5	講座名：
講師：石川 唯一（雄武）	雄武高校方式 発問からコミュニケーション活動、評価、動機付けへ
講師略歴： 北海道教育大学函館校(国語教育)卒→雄武高校6年目 Certificate in TESOL by INTESOL (2014)	
講座内容： みなさんは普段の授業でどんなことをされていますか？ もし、自由に科目名を決めることができたら、どんな科目名にしますか。生徒の思考を深め、やる気を引き出す発問について、発問からコミュニケーション活動、その評価方法について雄武高校での事例を通して、一緒に考えていきませんか。 Key Words: Essential Questions (UbD) / Personalised Questions / Performance Assessment / 指導と評価の一体化	
備考： どうすれば生徒が主体的に考えられるようになるか、年々変化する生徒を相手に日々悩んでいます。ぜひ相談にも乗ってやってください。ペアワークをします。お待ちしております。	

① : ワークショップ①(10:10~11:30)

講師番号： ①ー6	講座名：
講師：高西 貴幸（苫小牧東）	骨太の英語学習者を育てる仕掛け【ガタ高編】
講師略歴： H14～ 横浜市立中学校〔観点別評価と自己評価を研究〕 H16～ 福島商業高校〔英語学習に対するモチベーション向上を研究〕 H20～ 函館西高校〔第1期：Round System を研究 第2期：自律的学習者の育成を研究 第3期：到達目標を意識した体系的な4技能向上を目指した授業デザインを研究〕 H29～苫小牧東高校〔Task-based Language Teaching を取り入れた生徒がアクティブになれるワークシート（ハンドアウト）を研究中〕 H29 外務省主催 若手教員米国研修事業（ポートランド研修）参加 H30 英語教育推進リーダー中央研修 参加中 その他 授業実践セミナー講師、高教研研究発表など 【苫小牧東高校内での動き】 1 学年担任（コミュ英Ⅰ、英表Ⅰ担当）・生徒会担当・サッカー部監督	
講座内容： 今回のテーマは、ガタ高こと苫小牧東高校で実践する「ハンドアウトベースの授業」です。「①担当教員間で到達目標を共有でき、②生徒が主体的・対話的になり、③生徒が深く考えたくなる」ようなハンドアウトを目指し、日々試行錯誤しています。 本ワークショップでは、昨年度から今年にかけて私と本校英語教諭が協力・協働して作成したハンドアウト（CROWNとPOLE STAR）を使用して、いくつかのタスクを参加する先生方に体験していただきたいと思います。	
備考： 模擬授業は英語で行いますが、説明と質疑応答は日本語で行います。参加される方は筆記用具をご持参ください。ワークシート（ハンドアウト）についての情報交換・質問も大歓迎です。	

講座番号： ①ー7	講座名：
講師：工藤よしの（釧路東）	「主体的・対話的で深い学び」を支える自己肯定感・有用感を高める授業を目指して
講師略歴： 東洋大学社会学部応用社会学科社会心理学専攻卒業→旅行会社添乗員(約4年)→主婦→北海道教育大学教員養成課程中退→北海道教育大学大学院教育学研究科修了→北海道釧路東高校(期限付1年+正規採用4年目)	
講座内容： 「主体的・対話的で深い学び」を SCRUM の協力校として、学校教育目標「何ごとにも大切にしまわりから大切にされる人を育てる」の具現化を英語科の授業でどう行うか。英語に強い苦手感のある生徒が、授業を通してメタ認知力を高めてPDCA サイクルを自分で回していけるよう、自己肯定感や有用感を高める一助になりたい。そう考え授業づくりをしています。荒削りの初任の取組みをたたき台として、ご参加いただく先生方と交流して「深い学び」が実現できればと考えています。	
備考：	

② : ワークショップ②(11:40~13:00)

講座番号： ②-1	講座名：
講師： 加藤 渉（札幌北）	「語り場 2018夏」 ～2020年 新入試に立ち向かう
講師略歴： 霧多布（H13～）→ 釧路江南（H19～）→ 札幌北（H28～） ＊国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業研究主任（H26～27） ＊グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修講師（H27～H29） ＊H30現在 1 学年担任・進路指導部・男子バスケットボール部顧問	
講座内容： 新入試制度を念頭に、日々の授業デザインや、学校全体としての取り組みについて紹介するほか、参加者のみなさんとざっくばらんに何でも自由に語り合い、少しでも頭が整理されていくような時間になることを期待しています。「困り」の共有もどんどんしましょう！ 講座のキーワード（予定） 大学入試 / 学力の3要素 / 4技能指導と評価 / 校内体制の構築	

講座番号： ②-2	講座名：
講師： 小林 康洋（国際情報）	中規模校&進路多様校におけるコミュニケーション英語授業 ～これまでに振り返り、これからを考える～
講師略歴： H16～19 中頓別農業高校（4年） H20～29 倶知安高校（10年） H30～ 札幌国際情報高校（1年目）	
講座内容： 主に前任校において実践した「コミュニケーション英語」の授業を紹介し、体験していただきます。前任校の最後の3年間、コミュニケーション能力の育成と基礎・基本の理解と定着を目指し、進学や大学入試に対応できる力をつけるために、どの時期に、どのような教材やプリントで、どのようなことを重視して取り組んできたかをお伝えできればと思います。 キーワードは「中規模校」「進路多様校」「基礎・基本」「進学指導」です。	
備考： 当日は、実際に使用していたプリントや定期考査、教具などもお示ししたいと思います。参加されるみなさんも、もしよろしければ、授業で使っているプリントやテストなどの教材をお持ちください。授業の工夫や悩み、上手くいかなかった取組について一緒に考えたり、共有したりする時間にできればうれしいです。	

講座番号： ②-3	講座名：
講師： 中川 淳（立命館慶祥）	テクノロジー音痴の英語教員でも簡単に出来た黒板デジタル活用術～2020入試改革へ向けた中高一貫校の英語の授業
講師略歴： 札幌白石・静内・札幌稲北の三校で22年間に渡り勤務後、2008年3月に北海道立高校を退職。同年4月より立命館慶祥中学校・高等学校に専任教諭として勤務して11年目。	
講座内容： 2020入試改革へ向けて高校1年生のコミュニケーション英語Ⅰの授業を担当しています。今年のワークショップはやや趣向を変えて、難しいソフトなどは一切使わずに、パワーポイントとリモートクリッカーだけで魔法のような授業ができる技をお教えします。中高一貫校ならではの楽しい英語の授業をぜひ体験してみてください。時間があれば昨年度の中学3年生の Informal Debating とパフォーマンステストの評価・定期試験の自由英作文についても紹介します。	
備考：	

②：ワークショップ②(11:40～13:00)

講座番号：②－４	講座名：
講師：都筑 宏海（旭川北）	旭川北・１～２年生での取り組み～目標設定、計画、評価、授業での活動
講師略歴： 札幌国際情報→上川→旭川北（６年目）	
講座内容： ２０２０年を見据え、旭川北の１・２年生で行っているコミュ英及び英表での取り組みをご紹介します。 特に目標設定、学習計画、評価（観点別評価、テスト作成）、活動（スピーキング中心）を、外部試験の結果分析を元に、参加者の皆さんと様々な情報交換・授業方法を共有できるような実りある時間にできたらと思います。昨年に引き続き今回も本校の石田真奈実先生とともにセミナーを行います。	
備考：参加される方が準備する物は特にありません。	
セミナー協力教諭略歴 石田 真奈実 教諭（略歴：弟子屈→旭川北（４年目）	

講座番号：②－５	講座名：
講師：杉崎 岳（広尾）	「話してから書く」「書くために話す」活動 ～アウトプットの障壁を取り除く工夫～
講師略歴： 野幌、釧路東、小樽工業、岩見沢西（期限付・時間講師）、札幌東豊高校（４年）、広尾高校（７年目）	
４技能試験を意識して、中高一貫の小規模進路多様校である本校の様々な生徒に適用する speaking 活動や writing 活動を充実させるために日々模索しながら授業を実践しています。これまで実践してきた活動の中から、準備に手間や時間がかからず幅広い学校で取り入れやすいシンプルで意義のあった活動を、体験を通していくつか提供できればと思っています。	
備考： 日々の課題や取り組みなどについて情報交換ができればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。	

講座番号：②－６	講座名：
講師：林 智子（釧路湖陵）	コミュニケーション活動中心の授業と科目横断のマイクロディベートについて
講師略歴： 網走南ヶ丘高校（Ｈ２２～Ｈ２７）→釧路湖陵高校（Ｈ２８～現在）	
講座内容： 「授業はコミュニケーション活動の場」をめざした授業づくり（ペアワークによる帯活動、英語のやり取りから教科書本文を理解、ペアやグループワークによるアウトプット活動、エッセイライティング、パフォーマンステストなど）について触れたいと思います。また、授業の帯活動や単元の最後に簡単なディベートを行っています。ここでは、他教科の先生とＴＴで行う科目横断的なマイクロディベート（他人事ではない究極の発問、ペアワーク、ディベート、ライティング、ループリック評価）の一場面を体験していただきます。	
備考： 筆記用具をご持参ください。	

②：ワークショップ②(11:40～13:00)

講座番号：②ー7	講座名：
講師：安藤 尚徳（帯広南商業）	教科書をしっかり使ってアウトプット活動！ ～授業構成から考査と評価の考え方～
講師略歴： 北海道本別高等学校（7年間勤務）→北海道帯広南商業高校（1年目）	
講座内容： 「ライティング・スピーキングをやってもなんかマンネリ」「活動をする時はいつも教科書とは別の教材を用意しなければいけないから大変」「いつも単発のアウトプット活動で終わってしまう」とお悩みじゃありませんか？ちゃんと教科書を使ってライティング・スピーキングのテーマ設定をすれば、リーディング・リスニング活動に繋がりが出ます。一緒にアウトプットのテーマ設定からテストや評価まで考えてみましょう！	
備考： 使用している教科書（コミュニケーション英語系のものがないと思います。）のコピー（1レッスン分あれば十分です）。	

③：ワークショップ③(13:40～15:00)

講座番号：③ー1	講座名：
講師：佐々木 晃（国際情報）	2020年に向けて ～技能統合を意識した段階的活動～
講師略歴： 愛別（H8～）－余市（H14～）－滝川西（H19～）－札幌国際情報（H27～） 平成24年度英語力を強化する指導改善の取組 研究主任 平成25年度英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組 研究主任 実用英語技能検定面接官	
講座内容： 技能統合に向けた取り組みを紹介したいと思います。 実際に活動し体験していただきながら、活動上の留意点を適宜解説していきます。 また、補足として、口頭英作文の紹介をする予定です。	
備考： ・メモ用紙、筆記用具があれば十分です。	

講座番号：③ー2	講座名：
講師：渡邊 翼（当別）	～生徒主体の授業を目指して～
講師略歴： 小樽桜陽高校（4年）→興部高校（4年）→当別高校（1年目）	
講座内容： 英語が得意な生徒、苦手な生徒、どんなタイプの生徒でも主体的に学べる学習を目指して日々取り組んでいます。生徒が英語を”fun”なものから”interesting”なものへ感じられるような具体的活動等を紹介しつつ、評価方法、さらに生徒との関わり方についても提供できればと思っています。 日頃は生徒指導や部活動指導、担任・分掌業務等でなかなか教材研究ができない先生方がほとんどだと思います。ちょっとした時間ですが、参加された先生方と英語を学ぶ楽しさを再発見できればと思います。	
備考：一方的な講義ではなく、参加された先生方と積極的に情報交換ができればと考えています。気軽にご参加ください。	

③：ワークショップ③(13:40～15:00)

講座番号： ③－3	講座名： 『●オセロゲーム○』～「英語 → 日本語、日本語 → 英語」～ からの脱却を目指す授業デザイン
講師：稲毛 知子（札幌旭丘）	
講師略歴： 教育学修士（オンラインの博士課程にまだおりますが、ハッピーエンドにはなさそうです）。書籍編集助手を経て、進研ゼミ赤ペン先生など → 富川高校 → 文部省 REX 計画（第5期）によりカナダ・アルバータ州の高校で日本語担当教師および州カリキュラム編成委員 → 札幌厚別高校。アメリカとカナダへの全道規模の高校生の国際交流事業協力員と、高英研事務局を担当 → 札幌藻岩高校 → 今はなき札幌開成高校（コズモサイエンス科）→ 市立札幌旭丘高校。2015 年から「英語教育推進リーダー = LEEP (Leaders of English Education)」(文部科学省)。2017 年度 LEEP Conference in Tokyo: Growth (文部科学省・ブリティッシュカウンシル) 発表者。元英検面接員。グローバル人材育成教育学会員・実用英語教育学会員。	
講座内容： 2020 年を 1 つの区切りとして、生徒の英検 2 級レベルの総合的な英語力（特にスピーキング力）を育むために、日頃の授業で何をすべきか、また、何ができるか。教科書の有り様を超えた授業デザインについての実践報告です。目の前の言語材料のみならず、生徒の興味関心を喚起して教養を獲得させることなしに、生徒が自分の考えを持って「英語で」話すこと・「英語で」書くことは、成立しないという立ち位置です。また、試験のデザインをどうするか？ 評価は？ ということ、ワークショップ形式で進めます（進行は英語と日本語）。 You are not alone… また、大規模校が抱え続けるアンタッチャブルな「同僚性をどう育むか」について、意見交換を是非しませんか。コンパクトな学校で目の前の生徒と共に作る授業経営が可能だった環境にいた時と、大規模校（全日制普通科）に異動してから横一列の授業経営とのギャップで息苦しくなる経験を共有し、ぜひ明日から全道の仲間と頑張る力にしませんか（進行は日本語）。	
備考： お使いの「コミュニケーション英語」「英語表現」の教科書と、その2科目の第1回目の定期試験問題を3部ずつご持参ください。座り方は、ペアやグループになるよう、こちらから当日指示させていただきます。	

講座番号： ③－4	講座名： 生徒の心にタネをまく！ “Motivation” と “Creativity” を軸にした授業のデザイン
講師： 澤田 大輝（旭川東）	
講師略歴： 阿寒高校（2008～12）→ 岩内高校（2013～16）→ 旭川東高校（2017～）	
講座内容： 今まで3つの学校に勤務してきましたが、ずっと変わらない授業の軸が“動機づけ”と“創造性”です。本講座では、模擬授業を体験していただいた後、下記キーワードの知見を活かしながら、様々なワークを通して、いつものタスクをより”motivative & creative”に磨き上げるワークショップを実施いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております☆ #WorkshopDesign #PlayfulLearning #QuestionDesign #Gamification #3M(Movie,Music,Media)	
備考： 可能であれば、2～3色程度の色ペンをご用意願います（無くても大丈夫です！）。また、USB メモリ等をお持ちいただければ、一部資料をお渡しすることもできます。	

③：ワークショップ③(13:40～15:00)

講座番号：③－５	講座名：
講師：原口 佑美（旭川北）	Don' t move the goal nets! ～Goal, Criteria の先渡しから生まれる生徒の学習意欲の向上～
講師略歴： 北海道釧路江南高等学校→北海道上富良野高等学校→北海道旭川北高等学校	
講座内容： 郡部校勤務経験で気づいた生徒の自己肯定感の低さ、教員への不信感、学習への不安感。 その経験から、生徒指導を基礎にした授業作り、人間作り、仲間作り、そして未来作りをモットーに授業を行っています。生徒の自己肯定感を高め、いきいきとした表現活動を行うことが出来る生徒作りを一緒に目指しましょう！	
備考： 筆記用具のみで構いません。できる限り、双方向でのやり取りをしながら進めていきたいと思います。私自身、毎日挑戦・失敗し、試行錯誤の毎日です。ワークショップを通してみなさんと情報や時間を共有することで、たくさんの方の事を吸収させてもらいたいと思います。よろしくお願い致します。	

講座番号：③－６	講座名：
講師：野田由紀恵（釧路明輝）	生徒が可能性を広げる授業 ～米国コロンビア大学派遣から変化した授業～
講師略歴： ●H25～弟子屈：「英語によるコミュニケーション力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」、若手教員米国派遣交流事業、NGO民際センター途上国派遣 ●H29～清水：第55回高教研研究発表「Critical thinker Creative thinker を育てる英語教育」 ●H30～釧路明輝：高校生交換留学促進事業アルバータ生徒引率（11月予定）	
講座内容： 初任 1 年目を指定事業でスタートし、丁寧に授業を作ってきた途中でのコロンビア大学派遣で気付いた日本と海外の教育の違い。翌年の発展途上国で英語が通じない環境での研修。授業の作り方が 180 度変化し、答えのない社会に進んでいく生徒に英語という教科を通して何が出来るかを考え現在の授業を創っています。 今年発表させて頂いた第 55 回高教研の研究発表テーマを中心としたワークショップを行いたいと思います。宜しくお願い致します。 #自力 #気付き #創造 #思考力 #想い #雑 #魔法の白紙	
備考： ・取り組んでいる内容を先生方に参加して頂き、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。 ・筆記用具のみでご参加下さい。 ・進学校、郡部校、学校種関係無く、参加して頂けると幸いです。 ・講師初心者ですが、当日参加して頂く先生方との時間を大切にワークショップに臨みたいと思います。	